



# 教委だより

No.415

平成29年3月17日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2)

## 平成28年度「とやま高校生ものづくりマイスター」認定式



認定を受けた生徒の皆さん



認定証の授与



代表生徒による謝辞

### 「とやま高校生ものづくりマイスター」に9名認定

本県は、医薬品をはじめ、金属製品、機械・ロボット、電子部品などの産業集積があり、日本海側屈指の「ものづくり県」となっています。こうしたなか、科学技術の目覚ましい進歩や社会経済情勢の変化にもしっかりと対応できる、豊かな教養と高い技術を身に付けた人材が、一層求められています。

このため、県では、県内高校の工業科で学ぶ生徒に、より専門性を深めてもらい、将来は地域産業を支える人材となってもらえるよう、今年度から新たに、各学校の取組や、生徒の成長を応援する「高校生ものづくりマイスター育成事業」を実施しています。

工業科での学習に3年間真摯に取り組んできた成果として、「ものづくり」に関する全国大会等において、特に優秀な成績を収めた生徒や、高度な資格を取得した生徒など、9名がその努力を讃えられ、第1回の「とやま高校生ものづくりマイスター」として、2月23日に知事より認定を受けました。

#### 「とやま高校生ものづくりマイスター」認定者

高島大珠	(富山県立魚津工業高等学校)	竹田亮大	(富山県立高岡工芸高等学校)
喜多秀長	(富山県立富山工業高等学校)	宮田修作	(富山県立高岡工芸高等学校)
中田翔平	(富山県立富山工業高等学校)	勝野瑞貴	(富山県立砺波工業高等学校)
新田川優来	(富山県立富山工業高等学校)	川縁拳大	(富山県立砺波工業高等学校)
森健人	(富山県立富山工業高等学校)		

### Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル .....2p
- ながの銀嶺国体 .....2p
- とやま学校多忙化解消推進会議 .....3p
- 第34回富山県高等学校生徒海外派遣団結団社行式 .....3p
- 公民館親子で高志の国探検事業 .....3p
- 平成29年度富山県教育委員会重点施策の体系 .....4~5p
- 探究科学科三校合同課題研究発表会 .....6p
- 教師力向上支援事業 一報告会 .....6p
- 「第51回全国高等学校体育連盟研究大会」を終えて .....6p
- 「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式 .....7p
- 平成28年度富山県学校給食優良学校等表彰式 .....7p
- 平成28年度高校生とやま県議会 .....7p
- 平成28年度全国体力・運動能力等調査の結果について .....8p
- 「中学校放課後学習支援」の取組 .....9p
- 特別展「霊峰立山ー立山信仰を探るー」 .....9p
- インフォメーション .....9p
- 総合教育センターNOW .....10~11p
- 学校レポート
- 「自己対話によるキャリア教育の推進ー自立して生きていくために必要な能力や態度を育てるー」
- 富山県立雄峰高等学校 .....12p
- リレーエッセイ「出会いが大きな活力に」
- 富山県中学校文化連盟会長 富山市立堀川中学校長 滝脇 一夫 .....12p

# 特集

# Stop! ザ・ネットトラブル

~その3~

＝ とやまネットルールづくりモデル事業 ＝

## ～生徒によるネットルールづくり～

今年度、「とやまネットルールづくりモデル事業」として、富山市立東部中学校・石動高等学校で、生徒自身によるネットルールづくりを行いました。（※様子を記録したDVDを各学校に配付予定）

☆ ネットルールづくりの手順 ☆

### ①実行委員会の決定

各学年から複数名を選出  
+生徒会執行部で構成

大学教官・  
大学院生が助言

### ②アンケートの作成

アイデアを出し合い、  
独自のアンケートを作成

### ③アンケートの実施・集計・分析

集計結果から、ネット利用の  
実態を分析・意見交換（グループ活動）

### ④「学校ネットルール」のたたき台を作成

意見を出し合い、みんなで守ることが  
できるルールのたたき台を作成

### ⑤各学級で「学校ネットルール」のたたき台を検討

各学級でたたき台を検討し、  
学級の意見を加える

### ⑥「学校ネットルール」の決定

実行委員会において、各学級からの意見を  
踏まえ、学校ネットルールを再検討し、決定

### ⑦全校生徒で「学校ネットルール」宣言 全校集会で発表する



～ あなたの学校でもLet's Try!! ～ 本音から始まる我が校の伝統 ～

## ながの銀嶺国体

（第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会・  
アイスホッケー競技会・スキー競技会）

1月27日から長野県長野市で開催された冬季国体スケート競技会では、東城拓也選手（ダイチ㈱）が、スピードスケート成年男子5000mで4位、1500mで7位入賞を果たしました。

2月14日から長野県白馬村で開催された冬季国体スキー競技会では、南砺平高等学校3年の山下陽暉選手が開会式で富山県選手団を代表して旗手を務めました。競技では、成年男子Aコンパインド競技で山元豪選手（早稲田大学4年）が3位入賞、成年男子Bコンパインド競技で山元駿選手（㈱ゴールドウイン）が4位入賞と兄弟で入賞しました。

また、クロスカントリー競技では、リレー種目において全種別で入賞しました。

スキー競技会では、8種目で入賞し、2年連続18回目の天皇杯（男女総合成績）入賞（8位）に輝きました。



スキー国体  
富山県選手団  
旗手 山下 陽暉 選手  
南砺平高校3年



スキー国体 少年男子  
クロスカントリーリレー8位  
富山県選抜



スキー国体 女子  
クロスカントリーリレー6位  
富山県選抜

## とやま学校多忙化解消推進会議

12月19日(月)に第2回とやま学校多忙化解消推進会議が開催されました。会議では、教育委員会の取組とその成果、次年度の取組予定について市町村教育委員会の代表や県教育委員会の各室課から報告があり、各学校現場の代表からは、学校の現状についての報告がありました。職員団体の代表からは、多忙化解消に向けての提案や問題点の指摘があり、それらを元に意見交換を行いました。

また、今後の取組として、保護者や地域からの要望への対応に関するリーフレットの作成に向けて、意見集約を行うことになりました。この内容については、次年度発行の「とやま学校多忙化解消の推進方針2017(仮称)」で紹介する予定にしています。



第2回とやま学校多忙化解消推進会議の様子

## 第34回富山県高等学校生徒海外派遣団結団壮行式

2月8日(水)、「富山県と台湾、シンガポールおよびマレーシア～これからの国際交流と環境問題～」をテーマに実施する第34回富山県高等学校生徒海外派遣の結団壮行式が総合教育センターで行われました。式では、井城龍昇君(富山中部高1年)に団旗が手渡され、上谷怜央君(新湊高2年)が団員を代表して「夢を実現させ、社会に役立つ人材となるために必要な、国際的な視野や感覚をしっかりと身に付けたい」と述べました。団員19名と団役員等4名は、3月6日(月)～17日(金)までの12日間、富山きときと空港から台北便を利用して、台湾、シンガポール、マレーシアを訪問し、現地高校生・大学生との交流、ホームステイ体験、現地進出の本県企業訪問や富山県人会との交流、史跡、文化遺産見学等の研修を行います。



団員代表謝辞



## 公民館親子で高志の国探検事業

～ ふるさとで遊ぶ！ ふるさとに学ぶ！ ～



将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、県では平成20年度から、公民館を拠点として、自然体験活動やふるさと学習に取り組んでいます。今年度は約140公民館、延べ11,000人の参加者のもと「川の生きもの観察会」「ミニ左義長の飾りつけ作業」など、様々な体験・学習を実施しました。「近くの川にすむ魚の名前をたくさん知ることができた。」「おじいちゃんたちと一緒にした左義長の準備は楽しかった。」など、身近な地域での自然体験やふるさと学習は、子供たちのふるさとへの愛着を育む活動になっています。



【川の生きもの観察会】  
小矢部市立水島公民館



【ミニ左義長の飾りつけ作業】  
砺波市立青島公民館

# 平成29年度富山県教育委員会重点施策の体系

## ① 学校、家庭、地域で取り組む 子どもの成長支援

【子どもの健全な育成と地域の教育力の充実】

- 新** とやまの子どもを守るネットトラブル防止対策事業 (1,000) ★
- 新** 土曜日の豊かな教育活動推進事業 (14,389) ★
  - ・ 公民館親子で高志の国探検事業 (2,500) ★
  - ・ 放課後子ども教室推進事業 (26,349)
  - ・ 中学校放課後学習支援推進事業 (6,115)
- 拡** 高等学校等就学支援金等 (2,105,344)
- 拡** 公立高等学校奨学のための給付金事業 (185,164)

【家庭の教育力の向上】

- 拡** とやま親学び推進事業 (3,820) ★
- ・ 家庭教育かわら版事業 (3,000) ★
- ・ 小学1年生 安心子育て支援事業 (638) ★

【児童等の安全の確保】

- ・ 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業 (6,000)

## ② 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

【確かな学力の育成】

- ・ とやま型学力向上総合支援事業 (21,790) ★
- ・ 学びのアシスト推進事業 (1,245)
- ・ 外部人材活用促進事業 (1,925) ★
- 新** ICT教育推進事業 (100,120) ★
- ・ とやま科学オリンピックの開催 (第7回) (7,992) ★
- 拡** ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 (3,330) ★
- ・ スーパーサイエンスハイスクール (952) ★

【社会で生きる実践的な力の育成】

- 新** 富山型キャリア教育充実事業 (7,900) ★
- ・ 高校生とやま県議会事業 (930)
- 拡** とやまの子ども 夢・ふるさと発見事業 (2,000) ★
- ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (4,000) ★
- ・ 高校生ものづくりマイスター育成事業 (2,400) ★

【グローバル社会で活躍できる人材の育成】

- 拡** 小学校英語教育モデル事業 (38,437) ★
- ・ スーパーグローバルハイスクール (8,000) ★

## ③ 子どもの健やかな成長を支え 元気を創造する教育の推進

【豊かな心と健やかな体の育成】

- ・ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (16,374) ★
- ・ スクールカウンセラー配置事業 (148,597)
  - ・ スクールカウンセラーの配置
- 拡** 小中連携型スクールカウンセラーの配置
  - ・ いじめ対策カウンセラーの派遣
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業 (18,211)
- ・ いじめ総合対策事業 (16,588)
  - ・ いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣
  - ・ いじめ防止対策推進事業
  - ・ 24時間いじめ相談電話の設置
- ・ 児童生徒の望ましい食生活の普及事業 (900)
- ・ 「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業 (1,843)

【少人数教育と校種間連携の推進】

- 拡** 少人数教育推進事業（小学校） (75,373) ★
  - ・ 小学3年生での35人学級選択制を4年生に拡充
  - ・ 小学校専科教員配置事業 (54,520) ★
  - ・ 学びサポート講師配置事業 (36,771) ★
  - ・ 中1学級支援事業 (9,194) ★
  - ・ 中1・35人学級選択制導入事業 (28,269) ★
  - ・ 小中一貫教育研究事業 (2,767)
  - ・ 高大連携未来を拓く人材育成事業 (1,500) ★

【特別支援教育の充実】

- ・ とやまの特別支援教育強化充実事業 (16,010) ★
- ・ 特別支援学校医療的ケア体制整備事業 (26,155)
- ・ 特別支援学校教諭免許状取得推進事業 (1,354) ★

【人権や思いやりの心を大切にす教育の推進】

- ・ 人権教育総合推進事業 (1,890)
- ・ いのちの教育総合支援事業 (1,479)

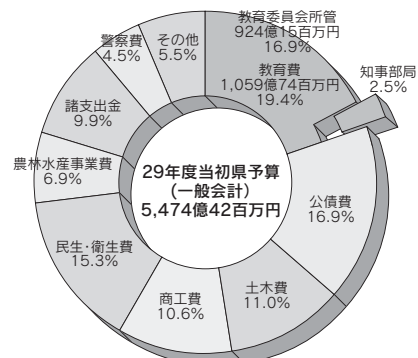
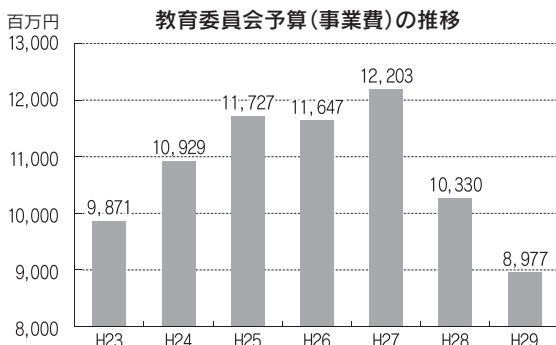
- ・ とやまの高校グローバルチャレンジ事業 (6,000) ★
- ・ とやまの高校生留学促進事業 (8,547)

【教員の資質向上】

- ・ 教師力向上支援事業 (4,000) ★
- ・ 教師の学び支援塾事業 (1,500) ★
- ・ 高等学校授業力向上支援事業 (5,000) ★
- ・ 教職員人材確保事業 (1,520)
- ・ 採用前研修事業 (500) ★
- ・ とやま学校多忙化解消推進会議の開催 (352)

## 教育予算

県財政が厳しい中、教育費は歳出全体の19.4%と最も高い割合を占めています。また、事業費ベースでみた教育委員会の予算は前年度比13.1%減となりました。



(平成29年度当初予算額：千円)

**新** はH29年度新規事業 **拡** は昨年度から拡充した事業

# ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成

— 真の人間力を育む教育の推進 —

## 4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

- 〔県立学校の教育環境の整備・充実〕
- ・ 県立学校整備等に関する検討 (1,000)
  - ・ 魅力ある教育活動支援事業 (6,619) ★
  - 拡 高等学校建設事業 (44,525)
  - 拡 運動場等整備事業 (127,979)
  - ・ 科学技術教育設備の充実 (256,088)
  - ・ 特別支援学校施設等整備事業 (192,072)
- 〔私立学校教育の振興〕
- 拡 私立高等学校特色教育振興事業 (180,274)
  - ・ 私立高等学校生徒奨学補助金 (105,606)
  - 拡 私立高等学校等奨学給付金 (66,295)
  - 新 私立中学校修学支援実証事業 (2,200)
- 〔大学教育・学術研究の振興〕
- 新 県立大学におけるグローバル人材育成・県内定着促進事業 (2,500)
  - 拡 大学コンソーシアム富山事業費等補助金 (7,781)
  - 新 県立大学新棟等新築整備費 (1,142,876)

## 5 生涯を通じた学びの推進

- 〔多様な学習活動の支援〕
- ・ 県民カレッジ本部・地区センターの運営 (60,314)
  - ・ 富山県映像センターの運営 (4,487)
- 〔県民の学習を支える基盤整備〕
- ・ 生涯学習情報ネットワーク事業 (6,107)
- 〔キャリアを磨く実践的な学びの推進〕
- ・ 私立専修学校各種学校開放講座開催事業費補助金 (900)

## 6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

- 〔学校等におけるふるさと学習の推進〕
- ・ 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (3,733) ★
- 〔家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興〕
- 新 高志の国まなび師範養成塾事業 (1,000)
  - ・ 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 (848) ★
  - ・ 「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施 (944) ★
- 〔高志の国文学館を拠点とするふるさとと文学の振興〕
- 新 大伴家持生誕1300年記念舞踊の制作準備 (5,600)
  - 新 「大伴家持」企画展の開催 (11,700)
  - 新 大伴家持文学賞(仮称)の創設 (1,000)
  - 新 首都圏万葉シンポジウムの開催 (5,000)
  - 拡 大伴家持生誕1300年記念事業の推進 (10,150)
  - 新 高志の国文学館5周年記念事業の開催 (1,000)
- 〔伝統文化の保存・継承〕
- ・ 勝興寺本坊等保存修理事業 (30,000)
  - 新 文化財の美装化等推進事業 (28,220)
  - 新 文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (1,000)
  - 新 ユネスコ無形文化遺産魅力発信推進事業 (7,630)



：総合政策局所管事業

：生活環境文化部所管事業

## 7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

- 〔子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進〕
- 拡 こどもドリーム・アカデミー支援事業 (2,000)
- 〔学校における文化活動の充実〕
- ・ 学校巡回劇場開催への支援(小・中) (756)
  - ・ ブロの演奏家による学校吹奏楽技術指導の実施 (740)
- 〔富山県美術館をはじめとする文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興〕
- 新 富山県美術館企画展の開催 (163,988)
  - 新 富山県美術館の教育普及活動 (26,468)
  - 新 富山県美術館開館記念作品購入 (250,000)
  - 拡 県立文化施設魅力アップ改修事業 (240,000)
- ※一部2月補正

## 8 元気を創造するスポーツの振興

- 〔県民がスポーツに親しむ環境づくり〕
- ・ 「富山マラソン2017」の開催 (85,720)
  - ・ 富山県スポーツフェスタの開催 (11,325) ★
  - 新 東京オリンピック機運創出支援事業 (2,200)
  - ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業(生涯) (4,730)
  - 新 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 (5,600)
  - ・ スポーツで健康づくり応援事業 (5,000)
  - ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックとやま戦略事業 (2,900)
  - 新 2020東京オリンピックホストタウン・合宿誘致推進事業 (2,000)
  - ・ 学校体育施設の開放 (5,174)
- 〔学校等における体育・スポーツの充実〕
- ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業(学校) (462)
  - ・ とやま元気っ子育成推進(みんなでチャレンジ3015)事業 (1,789) ★
  - ・ 学校体育活動サポート事業 (1,463) ★
  - ・ 武道指導者資質向上支援事業 (2,920)
  - 拡 スポーツエキスパート活用推進事業 (16,249) ★
  - ・ 環日本海インターハイ親善交流大会の開催 (13,600)
- 〔全国や世界の槍舞台で活躍できる選手の育成〕
- ・ 東京オリンピックを目指すジュニアアスリート育成サポート事業 (3,000)
  - ・ 2020東京オリンピック選手育成強化事業 (2,151)
  - 拡 未来のアスリート発掘事業 (6,000)
  - ・ 元気とやまスポーツ道場開催事業 (18,000) ★
  - ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 (3,000)
  - ・ サッカー・野球・駅伝強化事業 (15,000) ★
  - 新 冬季スキー国体開催推進事業 (2,300)
  - ・ 富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 (10,000) ★
- 〔スポーツを支える人材の養成と活用〕
- ・ 「元気とやまスポーツ大賞」等の贈呈 (664)

## 9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

- 〔地域を支える人材の育成〕
- 新 土曜日の豊かな教育活動推進事業(再掲)
  - 拡 とやまの子ども夢・ふるさと発見事業(再掲)
  - ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業(再掲)
  - 新 富山型キャリア教育充実事業(再掲)

# 探究科学科三校合同課題研究発表会

## －ステージ発表とポスターセッションによる探究活動の発表と交流－

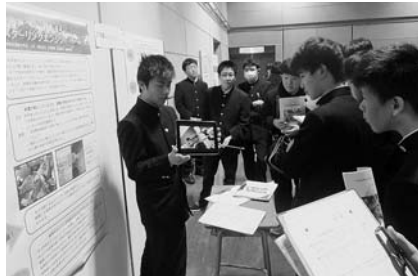
富山、富山中部、高岡高校の探究科学科による「三校合同課題研究発表会」が、12月17日(土)に高岡文化ホールで開催され、研究活動の成果を見学しようと他校生徒や中学生、保護者、県内外の教員など多くの方々が来場されました。

各校代表班によるステージ発表後の、3校の2年生59班によるポスターセッション形式の発表では、実験の様子をタブレットで見せるなど、どの班も工夫を凝らしていました。また、興味のあるブースの前でメモを取りながら説明に聞き入る生徒の姿や、聴衆と発表者が活発な受け答えをしている場面が多く見られました。発表した生徒からは「行き詰まることもあったが、何かを真剣に探究することの楽しさを実感した。」など、ここまでの苦労や充実感の伝わる感想が聞かれました。



高岡高校 ステージ発表

「SNSが高校生の言語活動に与える影響についての考察」



富山中部高校 ポスターセッション

「立山の地熱と雪解け水を利用したスターリングエンジン(続)」



富山高校 ポスターセッション

「身の回りに存在するエタノール生成菌の探索」

## 教師力向上支援事業 －報告会－

教師力向上支援事業の報告会が2月21日(火)に教育長をはじめ、検討委員の皆様のお出席のもと開催されました。この事業は、教員の自発的な研修を支援することにより、幅広い視野、識見ある教員の育成を図ることを目的に、平成19年度から実施しています。平成28年度は、各校種の教員17名を国内外に派遣しました。

派遣者から「主体的な学びにつながる授業の構築」や「豊かな社会性を育む北欧諸国の教育環境・教育活動について」等の研修の成果や研修後の実践について報告がありました。



研修報告をする派遣者

## 「第51回全国高等学校体育連盟研究大会」を終えて

富山県高等学校体育連盟 理事長 高木 直樹

平成29年1月12～13日に「羽ばたけ世界へ!未来のアスリートたち」を大会主題として、『第51回全国高等学校体育連盟研究大会』が富山国際会議場を主会場に開催されました。

大会には、全国から500名を超える体育・スポーツ指導者及び運動部活動に関わる皆さんが一堂に会し、日頃の研究成果を発表するとともに、当面する諸問題について情報交換を行いました。本県からは、呉羽高校の荒城教諭が「高校運動部活動の魅力を探る～富山県高体連における追跡調査を通して～」と題して全体会で発表し、上市高校の鎌森教諭が「競技力向上に向けた取組と課題～他団体との連携の現状～」と題して分科会で発表しました。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会評議員の福田富昭氏から、「指導者には、毎日生徒と向き合う情熱が大切である」と熱のこもったご講演をいただきました。

今大会を契機に、本県の学校体育・スポーツ指導者の力量がさらに高まり、より充実した高校運動部活動になるよう励みたいと考えております。



## 「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式

県農業教育振興会主催、第15回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクールの表彰式が2月16日(木)、富山県農協会館で行われ10名の受賞者が表彰されました。中学校、高校あわせて54編の応募があり、富山県知事賞には中央農業高校の長将行さんの「富山に長牧場あり!」が、富山県教育委員会教育長賞には氷見高校の河東雄志さんの「祖父を超えた米作り農家になる決意」、富山市立山田中学校の若林佑太さんの「僕と農業のかかわり」が選ばれました。当日は受賞者を代表して長さんが、酪農への夢、将来の酪農後継者を目指す強い思いを力強く発表しました。



## 平成28年度富山県学校給食優良学校等表彰式

1月20日(金)、県庁特別室で平成28年度富山県学校給食優良学校等表彰式が行われました。富山県は、先進的に食育を推進する県として、全国に誇れる取組を展開しています。本表彰は、学校給食の充実や食に関する指導の推進に特に顕著な功績があった学校、団体、個人に与えられます。

本年度は、「高岡市立博労小学校」「滑川市学校給食共同調理場」「本田久美学校栄養職員(高岡市立国吉中)」「中村美津則調理員(富山市立大広田小)」「松島里美調理員(入善町立入善中)」の1校、1場、3名に富山県教育委員会表彰が、1校、7名に公益財団法人富山県学校給食会表彰が贈られました。

今後も、学校・家庭・地域と連携を密にした取組を推進し、食育や健康教育の一層の充実に努めていただきますよう、お願いいたします。



## 平成28年度 高校生とやま県議会

12月26日(月)、県内の高校2年生40名の高校生議員が、「若者が暮らしたいとやま」「とやまの魅力発信」「女性が輝くとやま」「魅力ある大学」「循環型社会」の5テーマについて、富山の未来をよりよくするための意見を発表しました。

高校生議員は8月に認定証を授与され、富山県の現状や課題について学びました。その後、5つの委員会に分かれ、2回の委員会活動で県政への要望や高校生が実践できることを話し合いました。また、県政に関心を持ち、政治への参加意識を高めていくために、県議会の傍聴や知事、県議会議員との意見交換も行いました。

※活動の様子は、生涯学習・文化財室のHPでも紹介しています。



委員会活動の様子



本会議の様子



知事との意見交換会

# 平成28年度全国体力・運動能力等調査の結果について

「運動が得意な児童生徒は、体力合計点が高く、運動好きも多い」という文部科学省の調査結果が出ています。本年度文部科学省から出された調査結果を活用し、体力向上に取り組み、運動が好きな児童生徒を育てましょう。

## 1 体力・運動能力調査結果の富山県概要

小学校の合計点は、全国の合計点を上回り、運動習慣定着の取組や幼児期からの運動指導の効果が現れていると考えています。

中学校女子については、全国の合計点を下回ったものの差異は少なく、昨年の合計点を上回りました。しかし、中学校男子については、全国の合計点とほぼ変わらず、昨年の合計点を下回りました。

種目別では、20mシャトルラン（全身持久力）、立ち幅とび（瞬発力）、ボール投げ（巧緻性）において、小・中学校男女共に全国平均値を上回りましたが、上体起こし（筋力・筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、50m走（スピード）において全国平均値を下回りました。

〈小5・中2の調査結果：悉皆調査〉（網かけ：本県平均値が全国平均値以上の種目）

種目等	小学校第5学年				中学校第2学年			
	男子		女子		男子		女子	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
握力 (kg)	16.62	16.47	16.21	16.13	29.10	28.91	23.38	23.75
上体起こし (回)	19.36	19.67	18.38	18.60	26.69	27.46	22.81	23.48
長座体前屈 (cm)	31.86	32.87	36.34	37.21	42.76	43.06	45.34	45.46
反復横とび (点)	43.98	41.97	42.29	40.06	52.11	51.93	46.32	46.60
持久走 (秒)					395.03	391.72	288.93	288.51
20mシャトルラン (回)	55.97	51.89	45.29	41.29	87.69	86.24	59.81	58.80
50m走 (秒)	9.47	9.38	9.64	9.61	8.09	8.03	8.93	8.83
立ち幅とび (cm)	155.46	151.39	150.58	145.31	198.93	194.69	171.23	168.28
ボール投げ (m)	23.45	22.42	14.70	13.88	21.11	20.59	13.09	12.85
体力合計点	54.63	53.92	56.83	55.54	42.21	42.13	49.36	49.56

※体力合計点は、8種目の記録をそれぞれ1点から10点に得点化し、合計した点数

## 2 体力向上にむけた取組について

各学校において、現状をしっかりと把握し、課題を明確にして次年度の活動に生かすことが大切です。体力が大きく向上した学校では、体力・運動能力等調査結果をしっかりと分析し、その分析結果を基に、体力向上のための目標と今の計画を見直し、児童生徒の現状にあった指導計画を改善することで成果を上げています。また、そのような学校では、児童生徒に体力測定結果を自己評価させ、自身の運動習慣の改善につなげたり、運動やスポーツ、体育・保健体育の授業に取り組む意識の改善につなげたりするなど、児童生徒が運動やスポーツ、体育・保健体育の授業に意欲的に取り組めるようにしています。



## 「中学校放課後学習支援」の取組

本年度から、希望する中学生を対象に、放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、大学生や教員OBなど地域住民の指導やICTの活用等による学習支援を県内5市町の15教室で実施しています。

立山町の「雄山中学校放課後学習教室」は、中学校のランチルームで、ICTや単元別プリントを活用して、自主学习をしています。分からないところは、学習支援員の教員OBや大学生に聞いたり、互いに教え合ったりしています。好きな時間に来て、好きな時間に終わる自由さが、参加人数の多さにつながっているようです。

上市町の「上市町地域未来塾」でも、同じように自主学习が行われています。タブレットの学習ソフトを活用して、講義を聴いている生徒、教科書の問題を解いている生徒、教室に用意されている単元別プリントに取り組む生徒、教員OBの方の説明を受ける生徒等、学び方も様々です。



タブレット学習  
「雄山中学校放課後学習教室」



教員OBによる解説  
「上市町地域未来塾」



大学生の個別指導  
「朝日中学校学力向上サポート事業」

## 特別展「霊峰立山ー立山信仰を探るー」 富山県埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターでは、県が平成22年度から5か年をかけて実施した「立山・黒部山岳遺跡調査」の成果を公開した特別展「霊峰立山ー立山信仰を探るー」（会期：9月16日～3月30日）を開催しました。

展示では、立山開山伝承の舞台となった玉殿窟<sup>たまどのいわや</sup>の発掘調査出土品をはじめ、別山山頂遺跡の分布調査で採集された考古資料のほか、富山県「立山博物館」所蔵の「立山曼荼羅」や「銅錫杖頭」<sup>どうしゃくじょうとう</sup>（いずれもレプリカ）、立山室堂山荘所蔵の貴重な資料などをおして、古代から近代に至る立山信仰の変遷を分かりやすく紹介し、考古学ファンのみならず、山の愛好者の方からも好評を得ました。



## インフォメーション

会場所  内容  対象  募集人数  応募要領  休館日  
 募集締切  参加料  ホームページ  問い合わせ

入館  
無料

富山県埋蔵文化財センター ☎076-434-2814

企画展  
「古代へのとびら2017 ～いにしへの『技と知恵』～」

期日 4月18日(火)～9月14日(木)

富山県内で発掘された出土品をおして、ふるさとの先人の暮らしや、高度な「技」や「知恵」を紹介します。展示を見ながらクイズに答え、楽しく歴史を学びましょう。社会科の学習にもご活用ください。 ☎金曜日



展示を利用した学習

塾生  
(受講者)  
募集

富山県生涯学習カレッジ ☎076-441-8401

平成29年度 県民カレッジ自遊塾 塾生募集中(締め切り間近)

期日 2月24日(金)～4月14日(金)

富山県カレッジホームページ、県内の公共機関などに塾生募集案内を掲載・配布。

受講申込書に必要事項を記入の上、申込者1名につき切手82円分を添えてお申込みください。

4月14日(金)の消印有効。



「富山の名水探訪」の講座

# 総合教育センター NOW

平成28年度 調査研究事業について ◇◇ 研究紀要は3月中旬に各学校に配布します。◇◇

## 教育研修部

### 教員の授業における指導力向上に関する調査研究 －校内研修の視点から－

今年度から2か年計画で、教員の授業における指導力向上について、校内研修の視点から研究することとしました。初年度は、授業リフレクションの手法等を学校のニーズに応じて校内研修に取り入れ、調査研究を行いました。今年度の研究協力校の取組から、子供主体の授業づくりに結び付く指導力の向上が期待できることが分かりました。また、教員の授業における指導力を向上させるための促進要因も明らかになりました。次年度の研究へ生かしていきます。

## 科学情報部

### 一人一人の生徒が主体的・協働的に学ぶ学習の在り方に関する調査研究 －ICT活用によるグループ学習の支援－

総合教育センターの調査によると、グループ学習やICT活用に疑問や不安を抱いている教員が少なくないことが分かりました。そこで、研究協力校とともにグループ学習を取り入れた授業の大切なポイントや効果的なICT活用方法をまとめ、実際に授業に取り入れて生徒にどのような効果があったかを検証しました。今年度は理科、社会、技術・家庭、美術の教科で実践しましたが、来年度は他の教科でも研究を進めていく予定です。

## 教育相談部

### 学級の集団づくりプログラムの効果に関する調査研究（3年次） －対人関係ゲームを用いた集団づくり支援－

ゲームを通して集団の関係性にはたらきかける対人関係ゲームを用いて、学級の集団づくり支援の仕組みを開発しました。学級担任が学級の状況に合わせて集団づくりプログラムを構成・実践した結果、児童生徒の行動や学級集団の関係性に肯定的な影響があることや、学級担任の児童生徒理解や指導態度に変容があることが分かりました。学校支援訪問研修を通じて、学級担任用支援ツール等の活用を図り、学級の集団づくりを支援します。

## 教育研修部

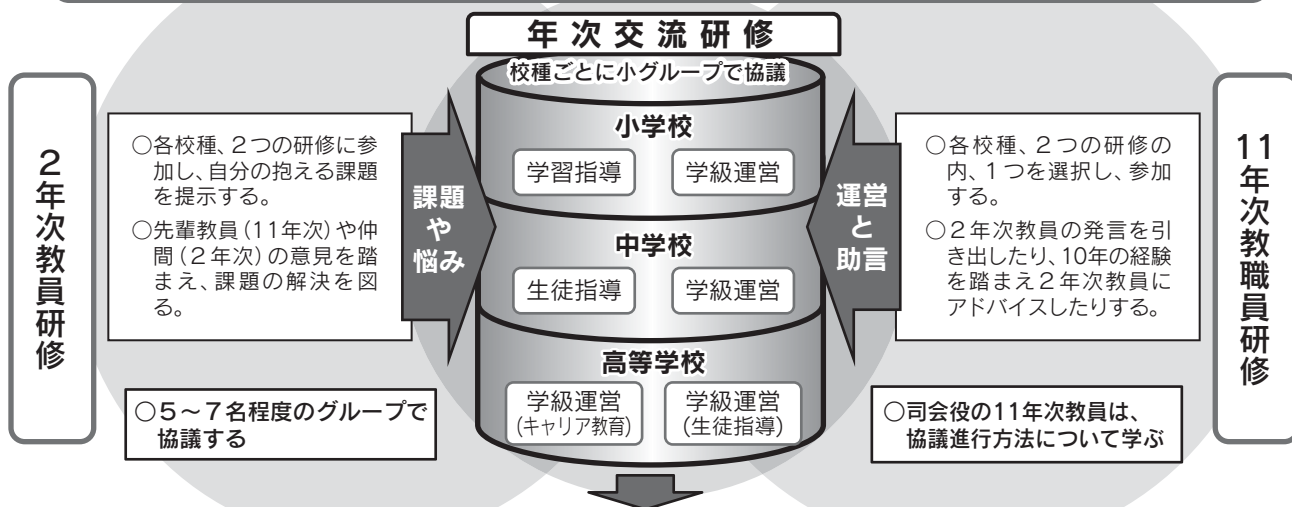
# 平成29年度より、2年次教員と11年次教員との「年次交流研修」を実施します

### 【時代の背景】

- ベテラン教員の大量退職、若手教員の大量採用による教員の若年化が進んでいます。
- 校内において若手教員を指導し、育てる中堅教員層（ミドルリーダー）の育成が求められています。

若手教員と中堅教員が互いに高め合う「年次交流研修」を導入し、双方の研修内容の充実を図ります。

- 2年次教員研修と11年次教員研修の一部に「年次交流研修」を導入し、夏季休業中に2年次教員と11年次教員が共に研修
- 従来の研修体系を生かして実施



「年次交流研修」での学びを校内でのOJTにつなげます。

- 2年次教員は、教員間の連携の大切さを学ぶとともに、先輩教員の姿を通して理想とする教師像の確立へ
- 11年次教員は、中堅教員として若手教員を育てる意識等を高めるとともに、ミドルリーダーとしての自覚の醸成へ

## 科学情報部

## 中学校・高等学校教員対象の理科研修について

総合教育センターでは、小学校・中学校・高等学校の先生方を対象に理科の観察・実験研修を開講しています。今回は、中学校・高等学校の先生方を対象にした研修を紹介します。

## ●理科教育講座（実験）中学校コース

基礎的・発展的な実験や観察についての研修を行い、中学校における理科教員としての技能と専門性を高めるとともに、指導力の向上を図ることをねらいとしています。また、中学校教員のニーズに応え、生徒の理科を学ぶ意欲が高まるような研修になるよう心がけています。

## 【研修の基本構成】・・・1日研修

- 平成28年度は「物理的領域」「生物的領域」の効果的な生徒実験を行いました。
- 平成29年度は「化学的領域」「地学的領域」の内容を予定しています。



＜物理的領域＞  
砂糖水の屈折率を求める実験



＜生物的領域＞  
顕微鏡で体細胞分裂を観察

## ●理科教育講座（実験）高等学校コース

高等学校における理科教員としての技能と専門性を高め、指導力の向上を図ることをねらいとしています。研修では、学習指導要領に関する基礎実験と発展的な内容の研修を半日ずつ実施しています。とりわけ、地学では「地学基礎」を中心に扱い、地学を専門としない教員のための研修になるよう心がけています。

## 【研修の基本構成】・・・1日研修

- 平成28年度は「化学基礎、化学」「地学基礎」における効果的な生徒実験を行いました。
- 平成29年度は「物理基礎、物理」「地学基礎」の内容を予定しています。



＜化学基礎＞  
分子モデルの製作



＜地学基礎＞  
微化石による古環境解析

## 教育相談部

## 読み書きのつまずき、子供の特性を支援に生かす

## — 平成29年度特別支援教育講座のご案内 —

最近の相談ケースを見てみると、学習に困難を示す子供の相談が目立っています。その中でも、読み書きに困難を示す子供の割合は高い傾向にあります。また、支援を必要としている子供の様々な特性の理解や「自立活動」の指導について悩んでいる先生方の声も聞こえてきます。そのような先生方のニーズに応じた来年度の研修講座をご案内いたします。

## ◇「読み書き支援コース」2回（6月、8月実施）

「音読で飛ばし読みをする」「文字や漢字の書き間違いが多い」など、つまずきの背景や支援の在り方について、東京学芸大学の小池敏英先生から、実際の指導場面や豊富な教材活用場面を通して学びます。アナログ教材やICTの活用等を含めて、明日からの実践にすぐに役立つ内容となっています。



読み書き支援の教材づくり

## ◇「子供の特性が分かり支援に生かせるアセスメントコース」2回（6月、7月実施）

アセスメントの目的は診断を付けることではなく、特性の生かし方を考える第一歩であること、そしてニーズに応じた支援の基盤であることなど、支援に生かせるアセスメントの在り方を富山大学人間発達科学部の和田充紀先生と共に学びます。また、心理検査の第一人者である、立教女学院短期大学の小林玄（しずか）先生から、子供の質的情報（行動観察）と量的情報（検査等）の整理と総合的な子供理解について学びます。

## ◇「基礎から学ぶ自立活動実践コース」2回（6月、7月実施）

「自立活動って何?」「各教科の内容との関係は?」などの基本的な疑問に、元特別支援学校長の柳田由紀先生に答えていただきながら、自立活動の目標や指導内容の設定から指導の在り方とその実際まで、具体的に学びます。また、個別の指導計画との関連について理解を深めます。

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

# 学校レポート

## 自己対話によるキャリア教育の推進

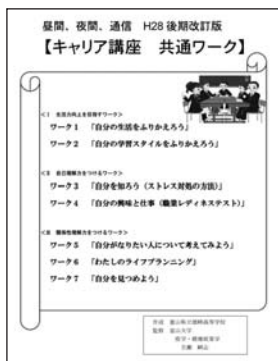
— 自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる —

富山県立雄峰高等学校

雄峰高等学校は、定時制・通信制・専攻科3つの課程をもつ単位制高校です。高校を卒業した人を対象とした専攻科には、県内で唯一の調理師養成課程があり、卒業と同時に調理師資格が取得できます。平成25年4月に現在の新校舎に移転し、県民生涯学習カレッジ富山地区センターが併設されました。生徒は、明るく素晴らしい教育環境の中で生き生きと学習しています。



雄峰高校では、定時制・通信制課程で生徒の気づきを重視し、自立を促す特色あるキャリア教育が推進されています。平成26年度の全体研修会をきっかけに、課程を超えた共通ワークの開発が始まりました。平成27年度からはワークを実施・改良することに加え、生徒の心の変容を検証するため、効果の測定方法の開発も行われました。本年度をワークと測定方法の完成年度とし、さらに改良を加えた写真の共通ワークが完成しました。富山大学の立瀬先生による監修もあり、教師用に指導案を盛り込むなど、とても使いやすいものとなっています。こういった継続した取組は、コミュニケーション能力や自己効力感を高めることを目的に行われてきました。「自己対話によるキャリア教育」と言える雄峰型キャリア教育が今ここに確立したと言えます。「今まで気付かなかったこと、向き合ったことのない自分をみつけることができた」など、多くの生徒の感想からもその効果や成果を読み取ることができます。



専攻科は、県内の公立学校では唯一、厚生労働大臣指定の養成施設となっており、国内トップレベルの施設と設備を誇っています。県内のホテルや名店のシェフ、料理長など40名を超える一流の講師陣から直接指導を受けることができます。

学校を訪ねた時、出会った生徒が笑顔で丁寧な受付窓口を案内してくれました。キャリア教育を中心とする地道で継続的な教育の実践が、実を結んでいることを実感できた訪問でした。

## リレーエッセイ

### 「出会いが大きな活力に」

富山県中学校文化連盟会長 富山市立堀川中学校長 滝脇 一夫

教員生活の終盤を迎え、これまで出会った先輩教員や生徒たちとの出来事を思い出すことが多くなった。これは、退く時期が近づいてきた証であり、経験から得たことを伝えようとする年長者特有の現象なのかもしれない。

先輩教員から学んだことはたくさんあるが、強く印象に残っている言葉が2つある。

- ◆ 「私たちの仕事は、川の流れるに墨で字を書く如し。流されても、流されても書き続けるのが教師の仕事」（この言葉の意味を実感したのは、数年後に問題行動の多い生徒たちと向き合った時だった）
- ◆ 「あなたは、365日、80の目をごまかせると思う？」（これを問いかけられた時、子供の人を見抜く直感力は鋭く、ごまかしは効かないと心に刻んだ）

生徒との出来事では、世話をかけ続けた生徒が、卒業式の日に涙を流しながら「先生、ありがとう」の一言。これは、教師冥利に尽きる言葉であり、それまでの苦勞を一瞬で吹き飛ばし、「明日からまた教員として頑張ろう」と、私の背中を押してくれた。

ここまで教員を続けてこれたのは、このような出会いから多大な活力をいただいたお陰である。私心なく、誠実に人や仕事と向き合えば、琴線に触れる多くの出会いや出来事があることを確信した。このことも、教員生活を通して得た大きな喜びの1つである。



#### ■執筆者プロフィール

富山市出身 山田小学校長、富山市教育センター所長、呉羽小学校長を経て平成27年度より堀川中学校長（平成28年度より県中学校文化連盟会長）

（御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。）

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp